



はなみずき

成生小学校 学校だより
令和7年6月24日 No.4
校長 渡 邊 隆

授業参観での子供たちの様子

6月6日(金)に、今年度初めての教室での授業参観を行いました。4月はPTA総会と併せて春の短距離走記録会を実施しましたので、このような日程となった次第です。

当日の様子ですが、教室内で保護者の方に授業を観てもらうこととなるので、緊張気味の子供達でしたが、それぞれの担任の先生方と楽しく学習に取り組んでいる姿がたくさん見られました。学習活動の中に、保護者の方に参加していただく内容のクラスもあり、子供達の様子を間近に見ることができた保護者の方も満足そうな様子でした。これから、児童面談なども行いながら、それぞれの子供たちへの心の対応も行っていきます。これまで同様に、子供達のことについてご相談しながら教育活動を進めていく予定ですので、よろしくお願いします。



4年生バス校外学習

6月3日(火)に、山形市浄化センター、最上川中部企業団(浄水場)、クリーンピア共立の3カ所に見学に行ってきました。働いている人たちの苦労や工夫など、とても丁寧に教えていただきました。取材する力を生かして、初めての新聞づくりに挑戦しています。



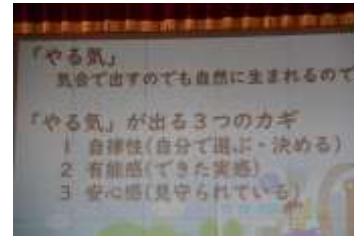
6年生バス校外学習

6年生の校外学習は、山形検察庁、山形地方裁判所、げんキッズに見学に行きました。検察庁、裁判所では、検察官や裁判官のみなさんと質疑応答を繰り返す中で、司法について理解を深めることができました。また、げんキッズの見学を通して、日本一子育てしやすい街をめざす天童市にとっての役割を考えることができました。



PTA 研修会

6月6日(金)に、山形県家庭教育アドバイザーであり、天童四中スクールカウンセラーでもある笹原英子先生に、「ポジティブコミュニケーションでやる気スイッチ ON!」と題して、講演・演習を行っていただきました。当日は、授業参観後の保護者の方約70名に参加いただき、講演途中にお互いに話し合う活動も採り入れてもらいながら、楽しく、そして、実感の伴ったお話を行っていただきました。私たち大人は、どうしても自分の経験値から、困難なことを子供達に経験させたくないという思いをもちがちです。そのため、言葉がけもどうしても自分本位になってしまい、相手の思いや願いを見取ってその子の立場になって考え、伝えることが取りにくい傾向にあります。その点について、改めてご指摘いただいたことがとても心に残りました。これから、子供達への言葉がけについて、日々変えていきたいと思いを強くしたところです。



行政指導出前授業

6月17日(火)に、山形行政監視行政相談センターの方々、行政相談員の四釜先生においでいただき、6年生に向けて、行政相談に関する出前授業を行っていただきました。今回は、行政相談のマスコット「きくーん」が登場するビデオを参観した後、行政相談について説明があり、自分たちの身近なところの課題を解決していくために必要な仕組みだということを理解できたようです。



鍵盤ハーモニカ講習会

6月19日(木)に音楽講師の渋谷啓子先生をお招きして、1年生の鍵盤ハーモニカ講習を行いました。幼稚園や保育園でも親しんできた鍵盤ハーモニカですが、1年生になって改めて学び直しとなりました。息をはく歌口の扱い方や音の出し方などを丁寧に教えていただき、音を出すとき、出さないときのメリハリの付け方もしっかりできるようになりました。また、音の強弱についても息の吹き込み方を工夫しながら、優しい音、強い音の違いについて感じる事ができました。これから、楽器を扱う楽しさを感じながら活動していきます。



挨拶について

6月18日(水)の全校朝会で「挨拶」について講話を行いました。成生小学校では、挨拶と車列へのお辞儀などが伝統として引き継がれ、子供たちも一生懸命取り組んでいます。しかし、朝の立哨のとき、挨拶をがんばれない人が決まってくる感じていました。そこで、挨拶について改めて考え直しをしてみたところ、挨拶ができない人の思いを考え、また、挨拶という漢字の意味を伝えました。

「挨」は「ひらく」と読めるので「心を挨く」、「拶」は「せまる」と読めるので「相手に拶る」、それらをつなげて「心を挨いて、相手に拶る(近づく)」と読み替えてみました。そこから、挨拶とは「相手を信じて、自分の気持ちを正直に伝え、今日一日をはじめると、子供たちに伝えたいところです。今後、挨拶の意味を考えながら、取り組みを進めていきたいと思います。
